

参加費無料

図解で学ぶ システム設計セミナー

状態マシン図で仕様を可視化し、
抜け漏れや解釈齟齬を防ぐ

参加申込



締切: 12/4

2026年 **12月11日** (金) 13:00-17:30

会場: 工業試験場 1F 研修室

定員: 10名 対面のみ

ソフトウェア開発のAIによる自動化が進む現在、上流工程における仕様定義や設計などの作業がより重要となっています。本研修では、ソフトウェア動作仕様の表現に用いられる代表的技術である「状態マシン図」の書き方について、実習を交えて分かりやすくトレーニングを行います。

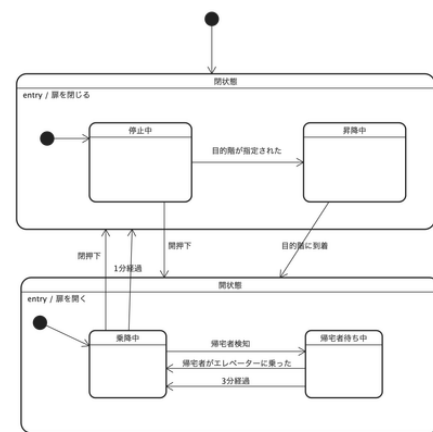
内容

UML2 状態マシン図の記法と読み方

業界標準であるUML (統一モデリング言語) にもとづく状態マシン図の表記法とその読み方を学習します。

状態マシン図 設計演習

具体的なシステム設計の例題を用いて、状態マシン図の作成やレビューのやり方について、演習形式で学びます。



講師

株式会社 達人出版社

取締役 **山根 ゆりえ** 氏

ものづくり支援センター 開発推進部

連携推進グループ 主査 **堀 武司**

令和8年度 図解で学ぶシステム設計セミナー

生成AIによるコーディング自動化が進む今、「仕様定義・設計」など上流工程のスキルがより重要になっていますが、経験に頼る部分が多く体系的な学習機会が不足しています。本研修では、ソフトの動作仕様を表現する状態マシン図を用いたモデリング技術を、実習も交えて学びます。仕様の可視化により設計段階での抜け漏れや矛盾を防ぎ、関係者間で認識を統一する標準的な設計手法を体系的に学ぶため、初級～中堅エンジニアに最適です。

WEBからのお申し込み



左のQRコード、または下記URLのお申し込みフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/yYvXqRBf19ncsQE1A>

メールでのお申し込み

件名を「図解で学ぶシステム設計セミナー 申込」として、下記の情報をメールにご記載の上、kaihatsu@hro.or.jpまでお送りください。

- ・ 貴社名 ・ 所在地 ・ 業種 ・ 参加者氏名（ふりがな付）
- ・ 参加者所属 ・ ご連絡先（メールアドレス、電話番号）

お申し込み締め切り日 ： 2026年 12月 4日(金) まで

お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部
ものづくり支援センター 開発推進部 ものづくり推進グループ（担当：都築、塚本）
〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目
電話：011-747-2324（直通） / FAX：011-726-4057 / E-mail：kaihatsu@hro.or.jp

会場へのアクセス

札幌市北区北19条西11丁目 工業試験場 1F 研修室



▶ 徒歩（約1km）

市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩で約15分
※エルムトンネルの上を通ります。
地上遊歩道をご利用ください。

▶ 車

JR「札幌駅」北口より車で約15分
※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からのみお入りいただけます。
※地下鉄北18条駅側から来られる場合は、**エルムトンネル**をご利用ください。

本研修は、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として実施しています。ご参加いただいた企業の皆様には、研修会終了後に雇用面での取組や、雇用実績などの調査をお願いしております。今後の取組の資質向上に役立てる目的ですので、ご協力をお願いします。

※記載していただいた個人情報は、研修・セミナー等の運営目的以外では使用いたしません。



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構